

令和4年度 男女共同参画（デートDV予防）学習会 実施状況

大崎市では、すべての児童・生徒をDVの加害者・被害者にさせないために、お互いの人権について考え、良好なコミュニケーションを身につける機会、暴力や危険を回避する知識を提供するための学習会を実施しています。

国は、令和3年度から「生命(いのち)の安全教育」として、子供を性暴力の当事者にしないための事業を推進しており、中学校における「デートDV、相談先」の指導については、本市では先駆けて取り組みを進め、学習会として定着しています。

また、第3次男女共同参画基本計画に基づき、自分と相手の性・生命の大切さについて意識醸成が図れるよう「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の考えを取り入れた学習会も合わせて実施しています。

今年度は、市立中学校全11校へ講師を派遣し、「デートDV予防学習会」を開催しました。

- ◆講話内容 A：人間関係とコミュニケーション中心 6校実施
B：性・生命の大切さを中心 5校実施
- 講 師 A：DV・デートDVファシリテーター 門間尚子氏
B：NPO法人ハーティ仙台相談員 伊藤ミカ氏

◆学習会を受講した感想

○生徒

- ・デートDVという言葉あまり聞いたことがなかったけど、実際に受ける被害や被害によって将来が大きく変わってしまうことを知り、自分や周りの人達が被害を受けないために少しの変化にも気を配っていきたく思った。被害を受けたら一人で抱え込まず信頼できる周りの人に勇気を出して相談したい。
- ・今まで性的なことについて全く考えたり、調べたりしたことがなくて、どんな感じなんだろうと思っていただけ、今回の講話のおかげでとても大切で、関係のないわけではなく、自分にも身近なものだということがわかった。自分の将来に関してもこんなことがあるかもしれない、としっかりと覚えているだけでなく心にしっかり入れて、こんなことがあったなと思えるようにしていきたい。
- ・人間関係などで悩んだときは、自分との向き合いが大切で、その悩みを自分や、自分を気にかけてくれる人に怒りとしてぶつけないようにすること、コミュニケーションは誤解やズレが当たり前で失敗がつきものであると、その間違いを聞く、聞いてもらうことが相手とのコミュニケーションを良くする第一歩なのだということが特に心に響きました。

- ・LGBTQや、DVのことについて、性についてなどとても深く考えることができました。今回学んだことを活かし、将来自分自身がトラブルに合わないよう気をつけていきたいと思います。

○先生

- ・何でも情報として知ることができますが、必ずしも正確に情報を得ていない場合もあります。具体的に話していただいて今まで間違っていた理解していた生徒もいたと思うので有意義な学びになったと思います。
- ・デートDVを中心に、暴力や虐待、いじめなどに共通する防ぐための考え方を全面にした内容だった。
- ・生徒に事前アンケートを実施し、今「性」について考えていることを踏まえ、質問への回答を踏まえながら講話で、生徒が自分の課題として捉えることができた。また、「DV」の問題から対人相互関係において生徒が今後必要な知識への理解が深まったと思われる。

『学習会の風景』



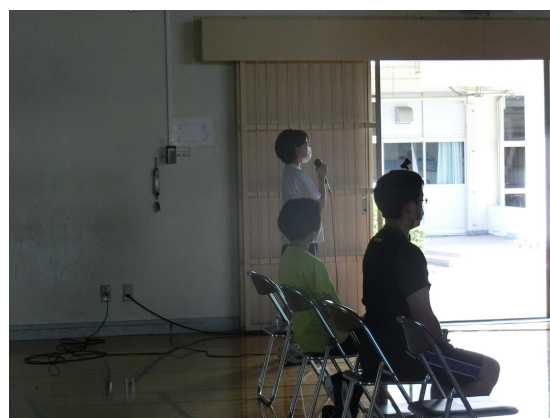
A) 実際にあった SNS の事例をロールプレイ



A) デートDVの対処に必要な知識を学習



B) 生徒からの事前質問に答える講師



B) 学習会の感想を述べる生徒